

議会だより



はこね

主な内容

- 3月定例会……………P 2
- 議案の審議結果(表)……………P 3
- 予算審議……………P 4～5
- 一般質問……………P 6～10
- 常任委員会報告……………P 11



～5月5日公時まつり～

3月定例会

平成29年度の予算総額は149億6,700万円
町議会3月定例会は、2月23日から3月17
日までの会期で開催され、条例の改正や新年
度予算の審議、一般質問を行いました。

補正予算

平成28年度箱根町一般会計補正予算(第6号) 原案可決

補正額 2,957万円追加 ⇒ 補正後の総額 103億7,112万5,000円

平成28年度箱根町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 原案可決

補正額 4,655万5,000円追加 ⇒ 補正後の総額 19億6,192万3,000円

条例制定 1件

○箱根町一般職の任期付職員
の採用に関する条例の制定に
ついて . . . 可決

条例改正 10件

○箱根ジオミュージアム条例
の一部を改正する条例の制定
について . . . 可決

○特別職の職員の給与に関す
る条例の一部を改正する条例
の制定について . . . 可決
○箱根町職員の勤務時間及び
休暇等に関する条例の一部を
改正する条例の制定について
. . . 可決

○箱根町職員の育児休業等に
関する条例の一部を改正する
条例の制定について
. . . 可決

○箱根町職員の給与に関する
条例の一部を改正する条例の
制定について . . . 可決

○箱根町職員の配偶者同行休
業に関する条例の一部を改正
する条例の制定について
. . . 可決

○箱根町介護保険条例の一部
を改正する条例の制定につい
て . . . 可決

○箱根町立公民館施設使用条
例の一部を改正する条例の制
定について . . . 可決

○箱根町立郷土資料館条例の
一部を改正する条例の制定に
ついて . . . 可決

○箱根町立弓道場条例の一部
を改正する条例の制定につい
て . . . 可決

専決処分 1件

○専決処分の承認を求めると
に つ い て (奨学金返還等請
求事件に係る訴えの提起)
. . . 承認

その他 4件

○箱根町八丁駐車場指定管理
者の指定について . . . 可決

○町道路線の変更について
. . . 可決

○町道路線の廃止について
(2件) . . . 可決

議会議事案件 1件

○箱根町議会議員の議員報酬
及び費用弁償等に関する条例
の一部を改正する条例の制定
について . . . 可決
町議会議員の期末手当を1
割削減することを可決しまし
た。

追加提出議案 1件

○箱根町国民健康保険条例の
一部を改正する条例の制定に
ついて . . . 可決

付託案件 2件

○箱根町第6次総合計画の策
定について . . . 可決
○箱根町第3次都市計画マス
タープランの策定について
. . . 可決

選挙 1件

○箱根町外2カ市組合議会議
員の選挙

平成29年2月28日をもって
議員辞職した勝俣忍さんの補
欠選挙を行った結果、指名推
選により、宮城野財産区管理
会委員の勝俣孝さんが選出さ
れました。

陳情 1件

○KKR箱根青風荘跡地の買
取に関する陳情 . . . 採択
滝通りにあるKKR跡地が
面している道路は道幅が狭く、
歩道もないため、歩行者、通
行車両の安全性向上と、地域
防災等の視点から、箱根町に
当該地の買い取りを要望する
ものです。

表紙の写真

公時まつり

公時まつり子ども相撲大会の
写真です。

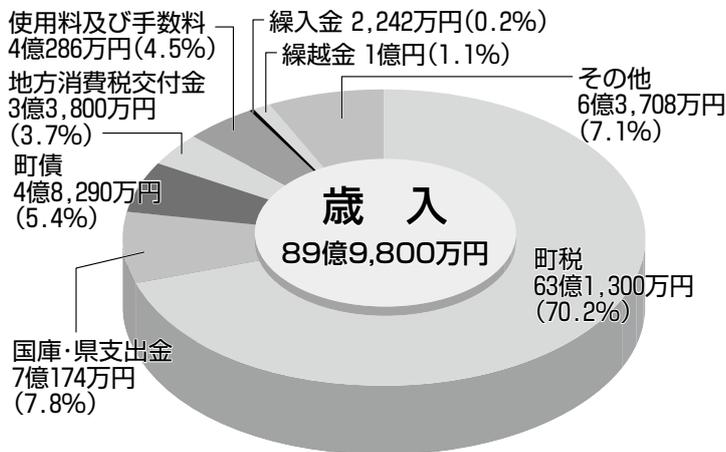
相撲大会のほかには、湯立獅
子舞や登山競走等が行われまし
た。子どもたちの笑顔が輝いて
いる、こどもの日らしいお祭り
でした。

議員別議案賛否一覧 (賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています)

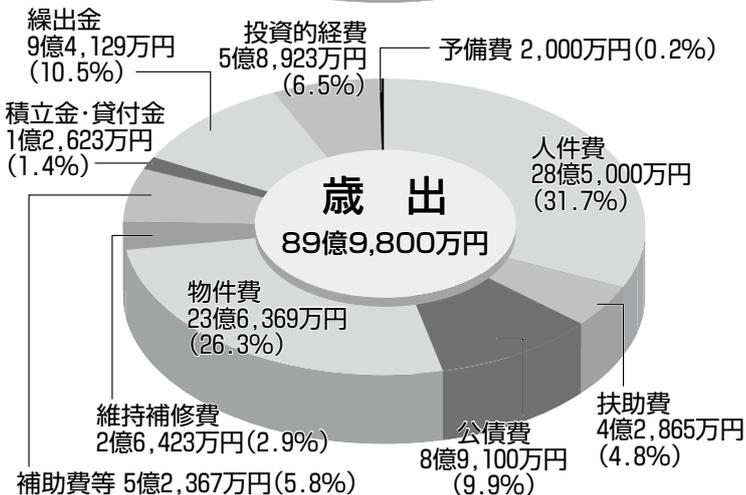
議案番号	議案等	議決結果	村野由紀子	川端祥介	川口延明	勝俣剛一	小川鶴雄	勝俣公好	山田成宣	稲葉親太郎	山田和江	石川栄	遠藤秀則	折橋尚道	西村和夫	沖津弘幸
102	箱根町第6次総合計画の策定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
1	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
2	箱根町一般職の任期付職員の採用に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
9	箱根町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
13	平成28年度箱根町一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
15	平成29年度箱根町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
16	平成29年度箱根町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
17	平成29年度箱根町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
18	平成29年度箱根町介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
26	平成29年度箱根町水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
27	箱根町八丁駐車場指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
32	箱根町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
陳1	KKR箱根青風荘跡地買取に関する陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○		退席	○	○	○	

議長は採決に参加しません

平成29年度 一般会計予算



平成29年度箱根町一般会計予算(左図)89億9,800万円、11会計予算の合計(下表)59億6,900万円、総額149億6,700万円とすることについて、審議が行われました。
特集として、各議員の予算質疑117項目の中から、一部を抜粋して次ページでご紹介します。



平成29年度 一般会計以外の予算

区分	予算額
国民健康保険	19億3,300万円
後期高齢者医療	3億4,110万円
介護保険	12億5,800万円
4 財産区	480万円
温泉	1億5,800万円
育英奨学金	2,700万円
下水道事業	15億8,200万円
企業会計(水道事業)	6億6,510万円



特集

平成29年度 予算審議

HOT21観光プラン策定事業について 川端 祥介

Q 新しく策定されるHOT21観光プランについて基本的な考え方と、盛り込む内容について、どのようなものを想定されているのか伺う。

A まずインバウンドについては、市場調査をしつつ旅行ニーズを考慮し箱根版DMOの設立も視野に入れ、外国人のひとり歩きができるよう町民・事業者を含めた、オール箱根で対応していきたい。また、現計画の実施状況も考慮しつつ内容を精査する。



産後ケア事業について 村野由紀子

Q 産後間もない母親の子育てが軌道に乗るまでの期間、日常生活のサポートや育児力向上のための助言を行い安心して子育てができる環境をつくるため、産後ケアの専門家「ドゥーラ」の導入新規事業について伺う。

A 産前産後の女性の心身の変化や乳幼児の発育と保育、産後の食事など、産後ケアに必要な知識を習得し、産後間もない母親をサポートする役割や心構えを学んだ専門家であるドゥーラを派遣するための費用を助成する事業である。



町道湯71号線道路整備事業について 小川 鶴雄

Q 町道湯71号線(旧道から東京電力三枚橋発電所方面に行く道路)の工事内容と今後の工事計画について伺う。

A 今年度の工事は、旧道入口から三枚橋発電所に向け、延長73mを舗装整備する。今後は、4年をかけて整備する予定である。

Q この道路の終点に、前田の吊り橋が早川に架かっているが、年数が経過し劣化が激しいが、今後の対応について伺う。

A 橋のことと取付道路等の状況を踏まえ、今後、地域の方々と十分話し合っていく。

認知症見守り支援事業について 勝俣 剛一

Q 認知症見守り支援事業の内容について

A 認知症等で徘徊行方不明となった場合、警察と連携し、地域の協力を得て、早期発見に努める。

Q GPSネットワークについて

A 速やかな発見ができるよう、小型GPS発信機の利用を促進する。神奈川県内全域に徘徊SOSネットワークがあり、早期発見できるGPS発信機の登録を求める。

Q 今後の見通しについて

A 安心して暮らせるよう地域包括ケアシステムの構築を推進していく。



箱根関所費について 川口 延明

Q 箱根関所資料館の今後の整備計画について

A 関所資料館の建物は、昭和40年、52年建築となっており、築40~50年を経過している木造建築である。平成27年度に実施した耐震診断で、震度6程度には耐えることができないとの結果を受け、平成28年度に筋違補強及び、屋根をガルバリウム鋼板への葺き替えを実施した。現在では震度6の地震で崩壊する危険性は回避された状態となっている。

将来的には建て替えについて、合理的な構想を構築していく必要があると考える。

箱根湯立獅子舞調査事業について
稲葉親太郎

Q 箱根湯立獅子舞調査事業の目的及び内容について伺う。

A 仙石原と宮城野地域に伝承されている国及び県の無形文化財である湯立獅子舞の歴史や現状について調査を行い、その結果を記録保存すると共に、民俗芸能としての特質を学術的な面から明らかにすることで、将来への伝承と保護に資することを目的に実施する。

事業期間3年、専門の方10名に調査を依頼し、関係者から聞き取りや古文書等調査を行い、最終的に調査結果を報告書にまとめる。



地震等災害対策事業について
山田 成宣

Q 防災備蓄食料等の購入内容について伺う。

A 保存期間切れとなるレトルト米、粉ミルク等の更新費用として277万円を計上した。

Q 災害時、物資の輸送はヘリコプターによる空からの輸送に頼らざるを得ない。避難所が本当に必要なものは何なのか、空にいるヘリコプターに意思を伝える方法を考えるべきではないか。

A 救援物資等をヘリコプターに伝える防災用品も市販されている。今後、防災備蓄品の整備計画の中で、購入について積極的に検討していく。



入湯税（歳入）について
勝俣 公好

Q 入湯税は、町の貴重な自主財源である。町は深刻な財源不足のため、入湯税の値上げを考えたのだろうか。例えば、平成29年度日帰り入湯税の入湯客数に50円増税すると、収入見込額は7,690万円。この収入見込を、固定資産税やごみ処理手数料に充て、税や手数料の値下げはできるか。

A 入湯税は目的税で、充当先が限られていることや観光客の減少などが考えられることから、今後の財政状況や事業規模の推移を見ながら、1つの選択肢として検討していきたい。



町道宮11号線道路整備事業について
遠藤 秀則

Q 具体的な場所と内容について伺う。

A さくら館までの総延長310mの町道を、2年間かけて舗装の打ち換えを行っていく。なお、平成29年度は早川発電所付近からさくら館までの180mを整備していく。

Q 雨が降ると路面が隆起するが、原因と対策について伺う。

A 舗装版の隆起については地下水の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては、透水管（穴がいくつも空いているパイプ）を布設する等、十分注意し行っていく。

消防施設等整備事業について
石川 栄

Q 第9分団詰所の外壁補修工事201万円の内容について伺う。

A 鉄筋表面が腐食しているため、コンクリートを剥がし錆止め等の処理を施す。

Q 消防団は災害発生時、地域の要となる組織で詰所は拠点である。第9分団詰所は地域の集会所として多く利用されていることから、耐用年数に満たなくても早急な建替を考えられないか。また建替場所について伺う。

A 現在、民地の無料提供を受けているが、建替場所や耐用年数についても計画が前進するよう検討したい。



国民健康保険料特別会計について
山田 和江

Q 来年度から国保は、県単位で広域化で行われる。この広域化で一番の関心は保険料がどうなるのかだ。また、県一律の保険料ではやらないとして、県から示される概算額で保険料を決めるというが、詳しいことはまだわからないのでは、広域化はまともに進むのか。

当町は過年度分を含めると、1/4強の世帯が滞納している。県への納付金まってくれといえない。一般会計から繰り入れして保険料引き下げよ。

A 保険料が上がる下がる答えられない。標準率10月頃提示される。繰り入れはしている。



宮ノ下地区公共施設活用事業について
折橋 尚道

Q 施設再編・整備計画に基づき平成29年度からモデル事業として宮ノ下地区の公共施設複合化に向けた基本計画を策定するが、完成までの計画を伺う。

A 温泉出張所、宮ノ下観光案内所及び消防団詰所の複合施設で、平成29年度は、実施計画を見据えた基本設計と整備する場所の地質調査も実施する。地域住民とは、懇話会・説明会等を実施し、意見を聞きながら進め、複合施設完成を平成33年度までに考えているが、順調に進めば予定より早く完成することもある。

3月定例会では、町政全般へ9人の議員が14項目にわたる一般質問を行いました。なお、質問者及び質問項目は、下の表のとおりです。原稿については質問議員が作成しています。なお、掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に、抜粋したものととなっておりますので、ご了承ください。

質問者	質問項目	ページ
川口 延明	・東京オリンピックを3年後に控えて外国人観光客を受け入れるための観光整備状況について	6
勝俣 公好	・南足柄市と箱根町を結ぶ道路における路線バスの運行について ・箱根湿生花園から台ヶ岳すすき草原へ繋がる木道設置について	7
山田 成宣	・消防団の現状と今後の課題について 特に、女性団員の登用に向けた手段について	8
折橋 尚道	・財政状況と財政再建について	
村野由紀子	・箱根町の防災対策について ・箱根町の文化財等について	9
稲葉親太郎	・インバウンド観光施策の推進について ・防災減災対策について	
川端 祥介	・箱根町行財政改革について ・学校教育問題について	10
山田 和江	・「地方創生」と定住対策について ・給食費の無料化について	
遠藤 秀則	・定住政策の効果等について	

※ **Q**は議員の質問、**A**は町側の回答です。

一
般
質
問

町の考え方を問う!



公衆トイレの施設維持に命名権を

町 — 命名権の導入は有効な手段のひとつである

Q 観光地である箱根の公衆トイレに温水洗浄便座の採用は出来ないか？

Q 昨今のトイレ事情の調査報告をみると、そのような機能を有する便座は、一般家庭では7割を超えているといわれているが、外出先で温水洗浄便座を使用するかという問いには、「しない」と答えた人は6割を超えているようである。

理由としては、「本当に清潔なのか」という気持ちの部分が大きい、それに対する意見が大半を占めていることから今後の動向を見つつ検討していく。

Q 公衆トイレの維持の方法に、民間の活力を導入し命名権を販売、トイレの維持管理までみる手法があると思うが、外国人を受け入れる町として命名権付公衆トイレの検討をどのように考えるか？

A 公衆トイレの命名権については、全国的にみても京都市など数団体が実施しているのみであると認識している。また、その内容についても、費用を負担していただいているところや、点検・清掃作業の実施などがその対価となっているところなどさまざまである。

公衆トイレを常に清潔な状態に保ち、皆さんに気持ち良く利用してもらうためには、言いつまでもなく清掃等の維持管理が重要であり、そのための経常的な経費がかかる。

町の財政状況からそういった費用を少しでも軽減していかなくてはならないわけであり、命名権の導入はそのための有効な手段のひとつであろうと考える。



川口 延明 議員



南箱道路に路線バスの運行を！

町 — 交通事業者等関係機関との調整を行う



勝俣 公好 議員

Q 箱根町を代表する観光スポットとなった。大きな駐車場がある箱根湿生花園から台

A まずは本路線の整備を促進し、開通に向け取り組んでいく。本町と南足柄市は観光客の回遊、通勤や通学においても密接な関係にあると考えることから、路線バスの運行について、今後、交通事業者等関係機関との調整を行っていききたい。



A 箱根湿生花園から台ヶ岳すすき草原へ木道で繋がる道を設置することにより、この観光客が、県道7号線の歩道から仙石原の商店や美術館等を回遊し、より仙石原が活性化すると思うが、町の考えを伺う。

A 箱根湿生花園から台ヶ岳すすき草原への木道設置の是非について有識者に伺ったところ、仙石原湿原内の回遊性を高めることで、希少植生を觀賞でき、自然保護に向けた意識醸成にも繋がることから、基本的には賛成という意見をいただいております。環境省、神奈川県、町の仙石原保全行政連絡会議において、引き続き検討していく。

Q 南足柄市と箱根町を結ぶ道路が2020年のオリンピック開催までに開通が決定し、大変喜ばしい。南箱道路の開通は、観光振興をはじめ、災害時の迂回路、国道1号線の小田原方面への渋滞解消等に期待されている。南足柄市周辺には高校が何校もあり通学路になる。南足柄市と箱根町の通勤路にもなることから、路線バスの運行が必要と考えるが、町の考えを伺う。

Q 南足柄市と箱根町を結ぶ道路が2020年のオリンピック開催までに開通が決定し、大変喜ばしい。南箱道路の開通は、観光振興をはじめ、災害時の迂回路、国道1号線の小田原方面への渋滞解消等に期待されている。南足柄市周辺には高校が何校もあり通学路になる。南足柄市と箱根町の通勤路にもなることから、路線バスの運行が必要と考えるが、町の考えを伺う。

消防団 女性団員を積極的に登用してみては！

町 — 女性団員の加入促進に努める



山田 成宣 議員

Q 今後、女性が消防団に入団された場合の所属について、どのように位置づけるのか。

A 女性団員による、特に一人暮らし高齢者宅への防火訪問、応急手当の普及指導などに力を発揮されていることは承知している。箱根町においても住民に対し、消防団活動の内容や女性力の必要性をご理解いただき、是非とも消防団員として活躍いただけるよう、女性を含めた消防団員の加入促進に努め、地域防災力の向上を図って行く。

Q 昨今、特に災害時、女性の消防団員のきめ細やかな活動が、全国的に評価されている中、箱根も是非とも女性団員の専門分団を今後設立して、地域住民・観光客の安心安全を図っていただきたい。

A 各地区の分団ではなく、団本部に所属していただくようと考えている。ある程度の女性団員の人数が確保できたら、箱根町内全域を管轄する女性分団を編成できたらと考えている。



箱根町の財政状況とこれからの財政再建の取組みについて

町 — 町民の意見を聞きあらゆる税目を再検討していく



折橋 尚道 議員

Q 今後の財政需要を把握したうえで、財源不足額を算出した結果、28～33年度の6年間で年平均約7.5億円の財源の不足が発生するとした。町はその対応として、行財政改革アクションプランを定め更に固定資産税超過課税を導入した。

A 公共施設の解体やインフラの修繕においても起債をする状況であり、平成27年度の経常収支比率は96.7%と依然として目標をはるかに超えている。約束した超過課税は、30年度まで、その後の財政収支をどのように考えているのか。

A 行財政改革アクションプランの着実な実行と超過課税の実施、職員による徴収の努力やふるさと納税の寄付により平成28年度は財源の確保ができた。

これから第6次総合計画を進めていくには超過課税を認めていただいた。30年度まで

は担保できるが、31年度以降は財政上担保が図れているとは言いがたい状況である。

Q 超過課税は3年間の期限であり、その後の自主財源確保については難しい。31年より財源不足が見込まれる場合はどのようにするのか。

A 行財政改革アクションプランの収支改善額を最大限考慮したうえで、今後の財源不足を明らかにし、あらゆる税目を再検討したうえで、行財政改革有識者会議・行財政運営を考える町民会議の意見と議会の意見も含めて決定していく。



村野由紀子 議員

国史跡箱根旧街道について

町 — 29年度から保護対策事業を展開する

Q ここ数年続いている震災などの影響で、熊本城をはじめ、多くの文化財が被災した。修復に向けた取り組みは始まっているが、復元の見込みの立たないものもある。施政方針に国史跡箱根旧街道の保護対策について、文化財を守るための日常管理などの取組みについて伺う。

A 国史跡箱根旧街道については、日常的な清掃や草刈り、ツル植物の除去などの維持管理、枯死した杉などは危険防止の観点から、伐採などの措置等、維持に努めている。

近年、杉並木は降雪や強風などで枝が落下して物損事故が発生したり、景観にも変化が見られる。石畳も破損や崩壊により形を維持できていない箇所も生じている。史跡の管理団体である町では29年度から3年間かけて保存活用計画を策定し、専門家の方々による委員会も組織し、箱根旧

街道の適正な管理、将来の計画に基づいて保護対策事業を展開する。

Q 民間が所有している文化財等の意識を高める取り組みについて伺う。

A 毎年1月26日の文化財防火デーにあたっての防災訓練、町指定文化財所有者に文化財管理奨励交付金の交付、現状変更や補修などに対する適切な指導、助言などを実施している。また、町内に残る石造物調査なども文化財ボランティアの方にも参加して頂きながら実施し、町にとつて貴重な歴史的遺産の把握にも努めている。



杉並木

インバウンド観光施策の推進について

町 — 箱根の光を見られる観光地づくりを



稲葉親太郎 議員

Q インバウンド観光が町の経済に占める割合の現状について伺う。

A インバウンドのみの観光消費額の調査を行っていない。

観光庁の訪日外国人消費動向調査等の統計資料によると、2015年の国内観光消費額は、23兆8,861億円で、その内、インバウンドによる消費額は3兆4,711億円である。

Q ジャパンタイムラインを利用した観光情報の手法と効果について伺う。

A ジャパンタイムラインとは、海外の旅行会社に対し、多言語で情報発信をするサービス。

町が提供した観光情報を、英語、中国語、韓国語をはじめとする7言語に人力翻訳し、東アジア、東南アジアの旅行会社約2,200社に直接発信してもらえる。



早雲山駅

箱根にとって主要な市場である、東アジア、東南アジアは旅行会社を通じた、旅行申込が多いことなどから、活用効果は非常に高いと思われる。

一度来訪された方にも箱根の旬な情報、新たな魅力を直接発信することでリピーターの創出も期待できるものと思われる。

小・中学校における防災教育の促進!

町 — 小・中学校における防災教育を充実し、防災検定も今後検討していく



川端 祥介 議員

Q 本町は山岳地形を構成しており、土砂災害の危険箇所や、過去において大規模な地滑りが発生したこともあり、特に火山活動に関しても、火山を恐れず正しい情報をもとに適切に行動していく必要がある。

本町の小・中学校における防災教育について、年間の主な教育内容と、防災教育の実施について伺う。

また、防災教育の一助として小・中学生に対する防災検定が行われているが受験させる考えはあるか。

A 小・中学校における防災教育については、2つのジャンルから行っている。

1つめは、防災につながる知識面の学習で、強化や学習指導の中で行われる教育。

2つめは、直接自分の身や命を守るための体験的な学習で、避難訓練の中で行われる教育である。また、このほかにも避難生活を想定し非常用

保存食を試食させる体験学習や、災害ボランティア体験や、起震車等の体験学習、小・中学校を通じての防災教育、交通安全を含めての登下校指導は各学期に実施しており、自助・共助・近助という観点からも、効果的な学習をしている。

一般財団法人「防災検定協会」が実施している、小・中学校向けの防災検定については、かねて教育委員会へ要望があるため調査し、検討する。



総務企画観光常任委員会 報告

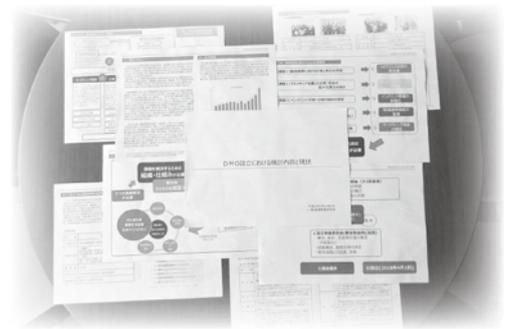
箱根版DMOについて調査・研究するため、町観光協会から、高橋専務理事、杉山委員、秋澤事務局長、また町当局より副町長、企画観光部長等の出席のもと、箱根の観光行政における現状やDMO導入の目的等についての説明を受けました。ALL箱根、特に地域連携機能の整備等、箱根の観光行政のさらなる発展のため、なお一層の取り組みを観光協会の皆さまにお願いしました。議会としても、今後、しっかりと注視していきたいと思えます。

※DMOとは、地域の観光のマネジメントとマーケティングを一体的に担う組織のことです。

委員長 山田 成宣



総務企画観光常任委員会の様子



DMO導入に関する調査・研究資料

教育福祉環境常任委員会 報告



町道湯12号線 現地視察



教育福祉環境常任委員会の様子

3月定例会において、当委員会に付託された町道路線の変更及び廃止、町立公民館施設使用条例の一部改正、町立弓道場条例の一部改正及び、町立郷土資料館条例の一部改正について慎重に審議した。

町道に関しては、現地の確認も済みであり、原案のとおり、全員賛成で可決・決定。公民館等条例の一部改正については受益者負担の適正化の観点から異議なく全員賛成で可決決定した。

なお、町道路線の廃止等においては類似した路線も多数見受けられ、今後も町道路線の調査継続を要請した。

委員長 勝俣 剛一

議会報告会 を 開催します

日時 平成29年5月26日(金)
午後2時より

場所 さくら館2階会議室
テーマ 議会改革について
平成29年度予算審議について

詳細は、議会事務局へお問い合わせ
ください。(☎85-9570)

皆さまのご参加をお待ちしています。

議会改革等推進特別委員会

議会改革等推進特別委員会は、3年半の期間多くの議会改革に取り組み、成果を上げてきました。現在、継続課題として、議会インターネット中継の構築、ペーパーレスを進めるためのタブレット端末導入、大学など専門知識を有する機関との連携を図り、自らの議会の在り方・進め方を再検討すると共に、政策立案が議会から発信できるように、議会能力の向上を目指すことなどの課題を残しております。

また、意見交換会・議会報告会を充実させることによって、住民ニーズを議会に反映させることに努めてまいります。



当特別委員会の任期は残すところ改選までの僅かとなりました。箱根町議会はこれからも、開かれた議会、議論する議会を発展させ、「町民から最も信頼される議会」を目指してまいります。

委員長 折橋 尚道



トイプードルの
ポッキー

(箱根地区 土屋さん)

我が家の自慢

箱根関所通りのお土産屋さん
「民芸の里」の看板犬ポッキーくん。
カメラを向けると快くポーズを決めて
おもてなししております。
近くにお越しの際は気軽に会いにきてね!!

次号以降に掲載するペットを募集しています。

50文字以内の紹介文、飼い主の名前、可愛がっている動物の名前と住所、電話番号を明記の上、写真を郵送または下記にEメールにて議会事務局まで提出ください。(名前と地区を掲載)
web_gikai@town.hakone.kanagawa.jp
なお、写真によっては掲載不可能な場合もありますので、ご了承ください。

広報広聴委員会
委員長 稲葉親太郎
副委員長 勝俣剛一
委員 村野由紀子
川口延明
山田成宣
折橋尚道

6月定例会の日程(予定)

6月9日(金)、15日(木)、20日(火)

※6月2日開催の議会運営委員会において決定いたしますので、変更となる場合があります。詳しくは、議会事務局(☎85-9570)までお問い合わせいただくか、町議会ホームページの議会カレンダーをご覧ください。

~皆さまのお越しをお待ちしています~